

令和4年度 学校教育学科 一般選抜（中期日程） 講評

○課題文について

課題文は、森 博嗣『勉強の価値』（2020年 幻冬舎）を一部改変して用いた。

○設問1 傍線部アで、筆者は「学びたかったら、自分を先生にすること」と述べていますが、それはどういうことですか。課題文に即して、二〇〇字以内で説明しなさい。

【出題意図と評価のポイント】

課題文を正確に読み取り、それに基づいて文章を構成する力が備わっているかを見る設問である。「自分を先生にする」ということの意味を本文中の言葉から捉えて、精度の高い文章で記述したものを高く評価した。

【講評】

解答は概ね出題意図を踏まえたものであったが、「創造的な勉強」の説明のみに終始したものや、本文中の文言を羅列するに留まり、文章構成力に欠ける解答が散見された。

○設問2 傍線部イで、筆者は「自分なりの考えを持つことは、正解を知るよりもはるかに価値がある」と述べていますが、あなたはこれについて、どう考えますか。課題文を踏まえながら、あなたの考えを、自分の体験や見聞を交えて八〇〇字以内で述べなさい。

【出題意図と評価のポイント】

筆者の主張を踏まえて、適切な事例を挙げて、論旨の通った文章で記述しているかを問う設問である。「自分で考えることが勉強の本質である」ことや、「自分の頭で思考する」ことについて触れていて、それにふさわしい体験や見聞を事例としながら、論理的な文章構成で述べたものを高く評価した。

【講評】

自分の体験や見聞を根拠としながら「自分なりの考えを持つ」ことについて述べた解答が多く見られたが、出題ポイントである「自分の頭で考える」ことは、「自問自答する」という学びの過程にも関わるということにまで踏み込んで、具体的に述べられた文章は少なかった。